

秋田県・市町村協働政策会議における協議結果のフォローアップについて

令和4年11月22日
企画振興部

令和4年5月25日に開催された会議において市町村及び県から提案のあった事項について、現在、次のような取り組みが進められている。

1 市町村提案事項について

市町村の提案	協議結果等	現在の取組状況（予定）
共同利用するデジタルツールの拡充について 業務効率化と財政負担緩和の両立を目指すため、秋田県及び県内市町村で共同利用するデジタルツールの種類を拡充する。	共同利用するメリットや課題、他県の事例等について、秋田県電子自治体共同運営協議会や秋田デジタルイノベーション推進コンソーシアム等の場を通じて、研究していく。	【担当：企画振興部】 ○ 8月31日に開催した秋田デジタルイノベーション推進コンソーシアム行政部会での意見交換を受け、令和5年度から、チャットツール（LoGo チャット）の共同利用を開始する。 ○ 今後も、適宜、意見交換をし、共同利用するデジタルツールの拡充について、検討していく。
林業に従事する担い手の養成及び確保について 高度な知識と技術を持った林業技術者を養成するため、研修機関である秋田林業大学校のさらなる活用とともに、（公財）秋田県林業労働対策基金等の林業関係団体と市町村が連携し、林業従事者を持続的・安定的に確保していくための事業等に協働して取り組む。	多様なツールを活用して森林の重要性や林業の魅力の発信等を行い、秋田林業大学校の受講生や林業従事者の確保等に取り組む。	【担当：農林水産部】 ○ 林業の魅力を発信するため、（公財）秋田県林業労働対策基金のホームページのリニューアル作業を行っているほか、機械化された林業の作業現場や林業就業者へのインタビュー等の動画を作成し、ホームページやSNS等で発信していく予定。 ○ 7月9日に開催された「あきた水と緑の森林祭」において、林業の現場で活躍している高性能林業機械の展示と実演を実施した。

2 県提案事項について

県の提案	協議結果等	現在の取組状況（予定）
生活排水処理事業を補完する組織の設立について 持続可能な生活排水処理事業の運営に向けて、県・市町村・民間企業の連携を基盤とした「広域補完組織」を設立し、安定的な行政サービスの維持に向けて取り組んでいく。	1 県及び全市町村が出資して、新たな組織を設立する方向で検討を進める。 2 民間事業者のノウハウを活用することで、効率的、効果的な組織運営が期待できることから、組織形態は「官民出資株式会社」とする。 3 令和5年の組織設立、令和6年度の本格運用開始を目指して、協力しながら設立準備を進める。	【担当：建設部】 [これまでの取組] ○県・市町村の協議 ・ 10月までに担当者による会議を計6回開催し、組織の設立計画や連携手法等について協議を実施。 ○民間事業者へのサウンディング ・ 6月下旬に対話を実施（県内外から20法人が参加）し、事業スキームに対する意見等を聞き取り。 ○有識者による委員会の開催 ・ 組織の設立計画や、パートナー事業者の公募要件等について、有識者の意見を聴取。 [今後の取組] ○12月議会に連携協約案を上程（県・市町村） ○2月議会に出資金に関する予算案を上程（ 〃 ） ○3月に知事・市町村長による連携協約への調印式を開催予定